

演習 1 3 監査実施（1）

演習 1 2 で作成した営業部の個別監査計画に基づき、S サービス株式会社の内部監査を実施しました。内部監査で実施されたインタビューの記録は、テストケースに示された通りです。

判断においては、JIS Q 27001:2006 の「A.7 資産の管理」を対象として下さい。

演習 1 3 - 1 . 不適合報告書を作成します。不適合報告書の空欄を埋めてみてください。

不適合報告書

文書番号：ISMS-監査-06-008

作成：平成30年10月20日

承認：監査責任者（総務部長）

作成：営業部監査担当（総務部 システム管理者）

（１）不適合の対象となる監査基準の項目

演習 13-1-1. JIS Q 27001:2006 「A.7 資産の管理」の項目のどの管理策に対して適合していないかを書いてください。

- ・ A7.1.1 資産目録
- ・ A7.1.2 管理責任者
- ・ A7.1.3 資産利用の許容範囲
- ・ A7.2.1 分類の指針
- ・ A7.2.2 情報のラベル付け及び取り扱い

（２）監査で得られた証拠

1. 現地調査の被監査部門対象者へのインタビュー（A7.2.2）

「秘密」「極秘」「社外秘」とファイルボックスにラベルで分けられるべきであるが、実際にはラベル分けがされていない。

2. ヒアリングから（A7.1.1 / A7.1.2 / A7.1.3 / A7.2.1 / A7.2.2）

利用者端末の設定手順書でメールでのデータやり取りに関することの規定についての記録がない。そのため資産目録に記載されておらず管理責任者が定められておらず、資産利用の許容範囲が文書化されておらず、分類の指針がなく、ラベル付けおよび組織の採用した分類体系による取り扱いが行われていない。

3. ヒアリング/現地調査から（A7.1.2）

組織内における情報の管理責任者について、証拠を得ることができなかった。

4. ヒアリング./現地調査から

資産利用の許容範囲に関する規則が文書化されているという証拠をえることができなかった。

(3) 判断結果

演習 13-1-3. 演習 13-1-2. で得られた証拠から、重大な不適合、軽微な不適合、改善の機会のどれにあたると考えられるか、書いてください。

1. 改善の機会
2. 重大な不具合
3. 改善の機会
4. 改善の機会

(4) 判断理由

演習 13-1-4. 演習 13-1-2 から得られた証拠（事実）を考慮して、演習 13-1-1 で選んだ監査基準の項目に対し、演習 13-1-3 の判断を行った理由を書いてください。

1. 現地調査にて運用ルールが遵守されている十分な証拠がなかったため。
2. ヒアリングにてデータのやり取りや規定に関する記録が存在しなかったため。
3. ヒアリング及び現地調査にて十分な証拠を得ることができなかったため。
4. ヒアリング及び現地調査にて十分な証拠を得ることができなかったため。